

総合的な学習の時間 「ゼミ学習『手話を学ぼう』」

横須賀市立神明中学校



単元（題材）目標

- 自ら意欲的に課題に取り組み、長期的・継続的に努力しようとする姿勢や心がまえを身につける。
- 手話を通して障がいについての理解を深めるとともに、お互いを大切にする思いやりの心を育てる。

（１）実施時期

令和２年２月中旬

（２）対象（学年等・人数）

第２学年 21名

（３）指導者（教諭・外部講師等）

外部講師：社会福祉法人 横須賀市社会福祉協議会 ボランティアセンター 2名
横須賀手話サークル 8名

（４）実施内容

- 第１回：聴覚障がいについて
 - ・聴覚障がいの方が日常生活の中で困っていること
- 第２回～第９回：手話体験
 - ・手話に関する基本的な知識の習得
 - ・簡単な会話（あいさつ・自分の名前等）
 - ・簡単な会話に使える手話の練習
 - ・ゼミ学習の発表のための手話練習
（手話についての説明を言葉と手話を交えて行う
【パブリカ】を音楽に合わせて手話で練習）
- 第１０回
 - ・学習内容の発表と振り返り



（５）成果〈子どもの学び〉

- 聴覚障がい者に対する知識を学び、聴覚障がい者の方に対する理解を深めることができた。
- ゼミ学習の発表を通して、同じ中学生と保護者に聴覚障がいについて、手話について発表することができた。
〈生徒の感想抜粋〉
 - ・今回手話を通して聴覚障がいの方がどのような気持ちで生活しているのかを知る機会になった。
 - ・手話は、言葉と同じくらい大切な、人と人をつなぐコミュニケーションの手段なのだと実感した。

（６）その他

- ゼミの発表を行うことで、学年の生徒・保護者に知っていただく機会を設けた。